

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価		
データ 分析 表	データ表	
	内容	項目数 平均
	「乳児保育」	15 4.67
	「3歳未満児保育」	26 4.27
	「3歳以上児保育」	0 #DIV/0!
	「教育保育の配慮事項」	16 3.94
	「健康・安全」	29 4.59
	「子育ての支援」	18 4.44
	「職員の資質向上」	9 4.22
	計	113 4.38
データグラフ		
総合 評価	今年度、地域の方、家庭との繋がりを意識して取り組んでおり、シニアボランティアの新規登録も2名増え、少しずつ地域との多様な関わりを持つことができていると感じる。より良い保育の質の向上を図るため、日誌の活用や、振り返りの持ち方など、日々の保育の振り返りや職員間の共有についての議論を重ねる中で職員同士の対話の重要性を感じている。次年度も、振り返り時間の確保や研修の報告など、保育・教育だけでなく、施設・職員の質の向上を目指していきたい。	

事業計画（今年度の重点目標）

項 目	内 容
意欲ある職場環境	職員面談を年2回（4月9月）行うと共に、月1回のグループ会議や環境会議の中で意識的に語る場を増やしていく
自己決定と選択の尊重	月1回、環境会議を行い子どもの姿から環境を設定していく
保育・介護・障害福祉サービス内容の研究と実践	法人内研修や特別研修に参加した際には、振り返りの時間に他職員にも報告して知識の共有を図る（年10回）